

余計な一言

皆さんは言葉の使い方に苦労したことはないだろうか。もし言葉の使い方を誤ってしまうと、自分の発言が自分の意図とは違うように相手に受け取られるかもしれない。自分にとっては何ら問題はなく、相手のことをきちんと考えたと思っている一言が、逆に相手を傷つけてしまっているかもしれないのだ。そんな余計な一言を解説し、その予防策を示してくれるのが本書『余計な一言』である。

本書は28の日常会話の実例を取り上げ、各々に解説と予防策を示す形式をとっている。全体的に文章も具体的で非常に読みやすく、読書に抵抗がある人でもすんなり読めるだろう。

ここで実際に紹介されている例を取り上げてみる。

男性A 「来週の飲み会に来れるかい？」
 男性B 「その日、仕事が終わるかな～。だから、行ければ行っていてことで……。またあらためて連絡するってことにしておいて」

皆さんもこんな会話を交わしたことはないだろうか。一見すると特に問題はなさそうだが、もしかするとBさんはAさんに不快感を与えてしまうかもしれないと筆者は指摘

している。ではBさんの発言はどこが問題だったのか、そしてどのように言えばよかったのか。答えは本書を読んで確かめてほしい。

身近な人との関係ならば悪化してしまっても、発言者が謝罪すれば修復することができるかもしれない。しかしSNSが普及した現代、個々人の発言が不特定多数の人々の目に届くようになり、不用意な一言が取り返しのつかない事態を招く可能性が増えた。発言のモラルが厳しく問われる今だからこそ、本書を読むことで、今までの自分の言葉の使い方を見直してみたいはいかがだろうか。 (箒星)



著者：齋藤孝
 出版：新潮社
 発売年：2014年
 定価：778円
 (税抜)



超簡単!

五平餅

残ったお米で作れる!

材料

作り方

一人前	
ご飯	茶碗1杯
タレ(お好みで変更可)	
砂糖	小さじ1
※ 醤油	小さじ1/2
味噌	大さじ1
みりん	大さじ1/2

1. ご飯をラップで包み、1cmほどの厚さになるように手で平たくつぶす。(米粒がわからなくなるくらいまで)
2. ※の調味料を混ぜてタレをつくる。
3. フライパンに油を引き、つぶしたご飯をうすいきつね色になるまで両面焼く。
4. 焼きあがったら皿に移し、タレを塗って完成。



五平餅の形・焼き加減などすべてが自由!
 自分だけの五平餅を作ってみませんか?

はみだし
 すてーじ

人肌恋しくなる季節ですね。
 ⇒そうですね。一緒に暖めあいましょう。

(文・2 bazooka)
 (愛のあるクリスマスを夢見て……; 編)